

---

## 「非小細胞肺癌における化学放射線療法後デュルバルマブ維持療法の有効性および安全性を検討する後ろ向き観察研究」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2018年5月1日から2023年2月28日の間に当施設で根治的同時化学放射線療法後デュルバルマブ投与が開始となった方を対象としております。

#### 2. 研究の目的

根治的同時化学放射線療法後デュルバルマブ投与が施行された方の診療情報を後方視的に収集し、疾患予後と治療の安全性を明らかにし、デュルバルマブ投与の有用性およびデュルバルマブ投与が有益な患者背景因子を明らかにすることです。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

研究実施後より1ヵ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

診療情報、採血・画像等の検査データをカルテから取り出します(その際に、患者さんの名前、生年月日、電話番号など個人情報をご直接特定できるような情報の取り出しは行いません)。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センター呼吸器内科において、研究責任者である三浦 雄が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

根治的同時化学放射線療法後デュルバルマブ投与が施行された方の検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

#### 3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科 三浦 雄

#### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

○研究課題名：非小細胞肺癌における化学放射線療法後デュルバルマブ維持療法の有効性及び安全性を検討する後ろ向き観察研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 三浦